

# 万博公園探鳥会

2025年7月12日(土)

リーダー 田中宏・中筋好子・橋本昌宗・大矢麻由美  
玉置こるり・平軍二(090-6901-1425)

## I 万博公園の鳥第2回「イワツバメ」

漢字名 岩燕 学名 *Delichon dasypus*



イワツバメ(20250510)橋本昌宗氏

6月万博公園探鳥会は雨天中止のため、5月万博公園探鳥会で花の丘の上空を飛んだイワツバメを紹介する。

イワツバメは大阪府内で越冬する個体もいるが、大部分は東南アジアで越冬していて、夏鳥として渡来している。万博公園ではこれまで40年間の探鳥会でイワツバメを2回しか観察していなかったが、たまたま、5月探鳥会では花の丘で上空をツバメの群舞、ツバメ・ロシアカツバメと共にイワツバメが飛翔していた。

イワツバメの名前は、もともと山や海岸の岩場に巣を作っていたツバメである

ことから名づけられたが、最近はコンクリートの建物や、高速道路の橋桁など、都会で営巣するようになった。

枚方市の淀川河川敷で実施している枚方淀川探鳥会では、天野川の淀川合流点より少し上流、淀川堤防上の歩道橋の橋桁にイワツバメのコロニー(集団営巣地)があった。探鳥会では集合場所のラポールひらかた前や、探鳥コースの上空を良く飛び回っており、最近13年間に50回(探鳥会の40%)以上、群れ飛ぶイワツバメを観察している。

吹田市にはイワツバメの営巣地が無いが、万博公園の北側にある茨木市豊川・清水、大阪モノレール豊川駅周辺に営巣していることをお聞きしていた。今回観察したイワツバメが、3kmほど離れた豊川駅周辺からエサ取りに来たとは思えないので、営巣地への渡りの途中かと思われる。

万博公園は平野部の緑のスポットであることから、樹林に休んでいくキビタキなどの林の小鳥だけでなく、長旅の途中に餌とり場として上空を利用していく鳥もいることがわかった。

先月報告のハチクマ同様、上空を通過している鳥を今後も楽しみたい。

## I ① 万博公園に一番近いイワツバメのコロニー(大阪モノレール豊川駅北側)



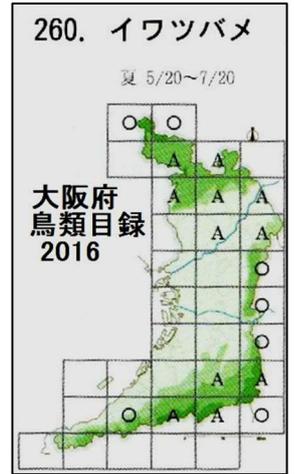
吹田市にはイワツバメの巣が無いことから万博公園に一番近いイワツバメのコロニーのある筈の大阪モノレール豊川駅周辺を探した。

豊川駅には1個ずつの巣が何個もあり、親燕が入っている巣もあったが、コロニーといえるほどではなかった。しかし、周囲にイワツバメが多数飛んでいて、駅より北の国道171号線より北側に集まっていた。よく見ると、モノレールが171号線を

を超えるための高架下に、写真のイワツバメのコロニーがあり、多数の巣で子育て中であった。

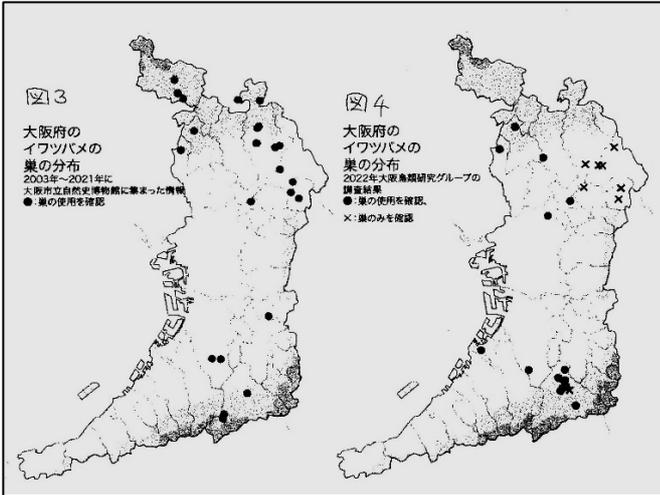
**I ② 大阪府のイワツバメ繁殖地(大阪府鳥類目録 2016)→**

大阪府内では淀川流域、そして平野部をぐるり取り巻く山地に近い河川の橋の裏などに繁殖地がある。



**I ③ 大阪府のイワツバメ繁殖地② 2006年・2022年**

↓ **和田岳(大阪鳥類研究 G 会報 156 号 2023.3.5)**



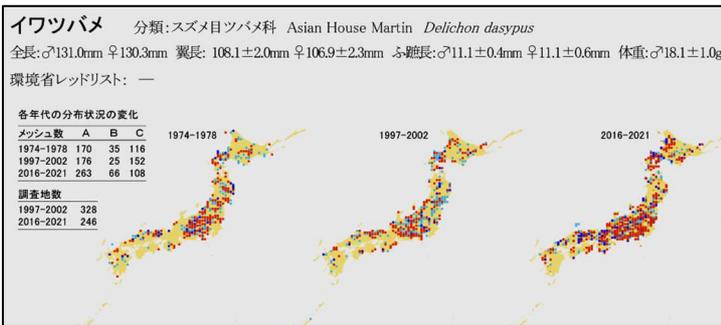
大阪自然史博物館和田研究員が大阪府のイワツバメの巣の分布の調査結果を報告されている。

大阪府のイワツバメは

1988年に初めて記録され、2000年代は山間地で拡大し、更に2010年代以降は平野部にも進出したとのことである。

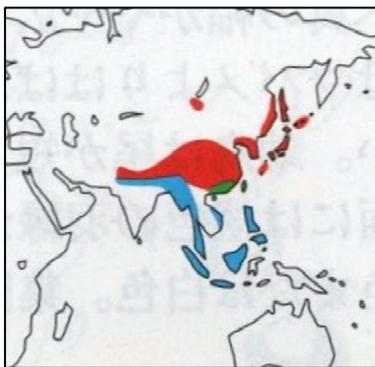
左図は2003~2021年、右図は2022年の調査結果で、左図で記録があった所に抜けているため、2023年はさらに調査の精度を上げたようになっていた。

↓ **I ④ 全国鳥類繁殖分布調査(鳥類繁殖分布調査会)2021**



全国に夏鳥として分布、西日本では越冬する個体もいる。

過去3回の調査を通じて記録メッシュ数が増加しており、繁殖の確認されたメッシュ数も増加しているが、これは重点的な集団繁殖地の調査を行なったため、現地調査で記録された地点は328地点から246地点と減少しており、1990年代からは減少していると考えられる。



← **I ④ 世界の繁殖越冬分図**

真木・大西「日本の野鳥 590」平凡社(2000年)

繁殖地は日本~中国南部、越冬地は東南アジアで、ニシイワツバメより生息範囲が狭い。



**II ① 先月 2025 年6月は雨天中止**

(室内でフリートーキング)

雨の晴れ間に全員集合→

集合場所の万博公園中央口で強く雨が降り、探鳥会は中止にした。しかし当日、7年前、国立民族学博物館に客員研究員として滞在されたとき万博公園探鳥会に参加されたことのある**カナダ在住(オタワ大学教授)の Scott Simon さん**が参加のため、当日雨の中でも参加して

下さった 10 名と、中央休憩所で 2 時間近くフリートーキングとしました。

**Scott Simon さん**からは、「特別な探鳥会を企画していただき、本当にありがとうございました。」

とお礼のメールをいただきました。

お昼近くには小雨となり、Scott Simon さんの希望もあり、大阪支部久下幹事・平の 3 人で、7 年ぶりに万博公園内を歩いてもらいました。

当日観察した鳥(中筋さんの記録) キジバト、バン、カイツブリ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、ヒヨドリ、ウグイス、ムクドリ、キビタキ(2 か所)、スズメ、セグロセキレイ、ドバト 12 種

## II② 先々月 2025 年 5 月探鳥会結果(抜粋再録)

6 月探鳥会は中止にしたものの、フリートーキングに参加された方には今月の鳥を「ハチクマ」とした、探鳥会資料をお渡した。そこで今月は、5 月探鳥会で観察したイワツバメを主題に、資料を作成したが、5 月探鳥会結果報告は、6 月に続いて抜粋し再録する。(写真 橋本昌宗氏)



ハクセキレイ



カワセミ



メジロ

5 月探鳥会では、自然文化園内中心の「もみじ川芝生広場」を中心に「ごぶごぶフェスティバル」が開催されたため、中津道の内側は一般の人がほとんど通行止め状態、しかも園内に大音響が響き渡っていたこともあって、鳥の声はあまり聞こえなかった。そんな中、ごぶごぶフェスの音が聞こえにくくなった「花の丘」上空でツバメの群舞、ツバメ・コシアカツバメ、そして万博公園では稀なイワツバメも飛んでいるのを確認した。更に北西部の「松の池」・「水鳥の池」などでキビタキのさえずりが聞け、鳥たちが負けずにいることを確認できた。日本庭園の「はす池」・「旋律の鯉池休憩所」で鳥合わせをして終えようとしていたとき、上空を渡りのハチクマ、そして近くの林にコサメビタキが出て、気持ち良く終了できた。

## III 8 月 9 日万博公園探鳥会は夏休み

### 次回は 9 月 13 日(土)

集合 9:30 自然文化園中央口

終了 15:00 頃 日本庭園内の予定

**参加ご希望の方 今月同様大阪支部 HP  
ホームズ様式からお申し込みください。**

ホームズでの申し込みが難しい方、

平宛メール [g.0501.hi@gmail.com](mailto:g.0501.hi@gmail.com) 連絡で OK。

コサメビタキ(20240914)橋本昌宗氏→



## NPO法人「日本バードレスキュー協会」

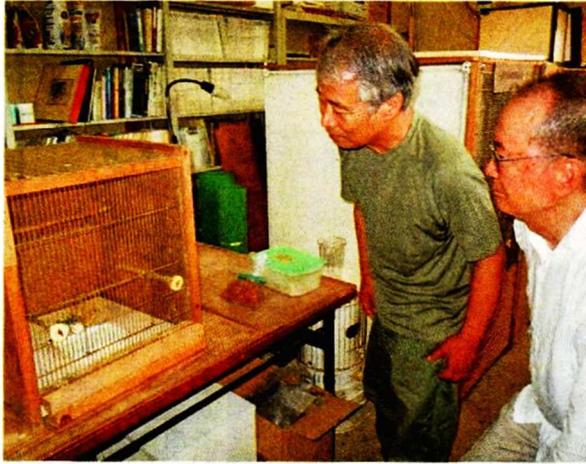
# 「野生に戻す」大前提に



大の鳥好きならずとも、傷ついた鳥を見かけたら、助けてあげたいと思うのが人の常。とはいえ、一体どうすれば？

然に戻す活動を続けている。日本野鳥の会大阪支部の有志を母体に2010年に設立。河内長野市の

ほかに兵庫県丹波篠山市にも事務所を持ち、府内から運ばれてくる鳥は河内長野で、兵庫県内の鳥は丹波篠山で、それぞれ



ケージの中のメジロの様子を観察する村濱史郎さん(右)と堺昭生さん  
—兵庫県丹波篠山市油井で

受け入れている。

これまでに保護した野鳥は1000羽を超えるが、もちろん、どんなケースでも保護できるわけではなくて、骨折などの重いけがの場合は動物病院へ連れて行くことを勧めている。

一番多いのは窓ガラスや車への衝突事故で、40%強を占めるといいます。また、巣立ちの時期になると、親からはぐれたと思っただけで、迷子の子や、親から離れ帰った人からの相談が多く寄せられるそうだが、迷子のようでも実は親は近くで見守っているの、手を出さずにその場を離れるべ

きなのだとか。

鳥の世話は毎日のこと。中にはメジロやオオムシなど、えさを一日でも活動しているの、私たちが、外で飛んでいる鳥もいるから大変だ。河内長野では理事長の村濱史郎さん(70)、丹波篠山では副理事長の堺昭生さん(68)が中心になって、ボランティアの協力を得ながら回復具合の観察などを続け、時期を見て野生に戻している。

世話をしていると愛着がわくのではないかと聞かされた。【中川博史】

### ◇NPO法人

#### 「日本バードレスキュー協会」◇

会員数約1600人。本部所在地は大阪府河内長野市小山田町3918、電話(0800)423383918。篠山事務所は兵庫県丹波篠山市油井131、電話(090)9711021142。メール(alba@bird-rescue.jp)。

# V 万博公園探鳥会 観察種チェックリスト (第8版ベース)

万博 NO	第8 版	種名	2024							2025							第8 版
			1	2	3	4	5	6	7	1	2	3	4	5	6	7	
			13	10	9	13	11	8	13	11	8	8	12	10	14	12	
1	21	オシドリ	2	2	25					2	1				雨	21	
2	23	トモエガモ	3												天	23	
3	27	オカヨシガモ							7	1	1				中	27	
4	28	ヨシガモ							2	2					止	28	
5	29	ヒドリガモ													参	29	
6	32	カルガモ	32	26	28	9	16	27	11	26	28	25	10	8	考	32	
7	33	マガモ	2		2	1										33	
8	34	オナガガモ														34	
9	35	コガモ														35	
10	39	ホシハジロ			1						1					39	
11	43	キンクロハジロ	1	2					4	4	3					43	
12	56	ミコアイサ														56	
13	69	アマツバメ														69	
14	82	ツツドリ														82	
15	89	キジバト	5	1	4	8	4	2	2	7	6	8	3	6	○	89	
16	93	アオバト		5	1						2	2				93	
17	96	クイナ														96	
18	100	バン							1						○	100	
19	101	オオバン							4	4	4	4				101	
20	117	カイツブリ	4	7	1	3	5	7	7	13	7	9	6	6	○	117	
21	119	カムリカイツブリ									1					119	
22	128	ケリ														128	
23	134	イカルチドリ														134	
24	135	コチドリ										2				135	
25	163	トウネン														163	
26	183	タシギ	2	2	2	2				1	2					183	
27	188	イソシギ														188	
28	213	ユリカモメ														213	
29	315	カワウ	3	6		8	7	2	3	1	1	2	3	6		315	
30	328	ゴイサギ									1					328	
31	333	アオサギ	2	1	2	1	1	1	2	2		4	1	3		333	
32	335	ダイサギ		1	1						1					335	
33	337	コサギ		5	2	3		1	2	1	4	2		1		337	
34	343	ミサゴ	1	1						1						343	
35	344	ハテクマ											6			344	
36	352	ツミ														352	
37	353	ハイタカ	3	1	1					1		3				353	
38	354	オオタカ	1	4							2					354	
39	359	トビ		1			2				1					359	
40	363	サシバ											1			363	
41	366	ノスリ			1	1										366	
42	384	カワセミ	4	2	6	1	3	5	3	6	3	5	3	3		384	
43	389	アリスイ														389	
44	390	コゲラ	5	5	2	5	2	2	6	5	5	2	4	5		390	
45	402	チョウゲンボウ	1	1	1		3	1			2	1				402	
46	407	ハヤブサ														407	
47	411	サンショウクイ														411	
48	412	リュウキュウサンショウクイ								1	1					412	
49	419	サンコウチョウ														419	
50	425	モズ	2	1	1					5	3	1	1			425	
51	435	ハシボソガラス	15	7	5	13	15	18	11	4	8	22	7	16	○	435	
52	436	ハシブトガラス	32	38	48	34	48	32	27	127	52	91	35	13	○	436	
53	439	ヒレンジャク														439	
54	442	ヤマガラス	4	8	2	2	2	8	1	7	4	4	2	4		442	
55	447	シジュウカラ	14	18	17	23	17	16	12	18	34	15	16	14		447	
56	456	ヒヨドリ	67	52	26	13	12	8	18	68	72	68	19	14	○	456	
57	461	ツバメ				6	27	22	11				4	10		461	
58	462	イワツバメ												12		462	
59	463	コシアカツバメ						3	5	1				7		463	
60	464	ウグイス	2	1	5	11	6	8	6		1	1	7	6	○	464	
61	466	ヤブサメ														466	
62	467	エナガ	8	9	6	2	6				7	3	4	4	2	467	
63	476	センダイムシクイ					1		1							476	
64	479	エゾムシクイ														479	
65	481	メボソムシクイ														481	
66	482	オオムシクイ														482	
67	484	オオヨシキリ														484	
68	501	メジロ	6	4	7	8	11	17	14	16	16	10	2	7		501	
69	507	ムクドリ	14	2	1	4	14	77	14	4	5	18	5	7	○	507	
70	509	コムクドリ														509	
71	514	トラツグミ		1							1					514	
72	526	シロハラ	1	3	4	8				26	20	18	15			526	
73	527	アカハラ				3										527	
74	531	ツグミ	136	3	44	35					8	14	23	11		531	
75	532	ハチジョウツグミ														532	
76	533	エソビタキ														533	
77	537	コサメビタキ				2							1	1		537	
78	539	オオルリ														539	
79	545	コマドリ														545	
80	550	キビタキ				1	1	2						5	○	550	
81	556	ルリビタキ			1						2					556	
82	561	ジョウビタキ	7	3	5	1				11	11	6	1			561	
83	564	イソヒヨドリ		1	1						2	1	1			564	
84	568	ノビタキ														568	
85	574	ニューナイスズメ				11							7			574	
86	575	スズメ	31	32	4	21	23	19	33	44	42	10	12	19	○	575	
87	584	キセキレイ									1	1	1			584	
88	585	ハクセキレイ	16	12	15	9	6	13	9	13	10	7	3	2	○	585	
89	586	セグロセキレイ	4	2		1			1		2	1	1			586	
90	591	ビンズイ										2	3			591	
91	595	タヒバリ											1			595	
92	597	アトリ	18	31	32	2				38	52	4	6			597	
93	598	シメ	8			2					1					598	
94	600	イカル					3	1		14	4	17		1		600	
95	608	カワラヒワ	81	97	65	10	15	23	9	10	26	8	7	17		608	
96	618	ホオジロ														618	
97	625	カシラダカ														625	
98	633	アオジ	2	2	2					6	8	5	3			633	
99	11	ドバト	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	11	
100	25	ソウシチョウ								5			1			25	
		カッコウSP															
		ムシクイSP											1				
		タカSP															
種類数(種)			36	39	36	37	26	26	25	36	44	42	39	30	12		
個体数(羽)			538	398	369	268	250	320	205	513	468	414	215	203			
天候			晴	晴	曇	晴	晴	晴	曇	晴	晴	曇	晴	曇	雨		
参加者数(人)			23	34	35	31	30	24	12	23	18	33	38	21	(11)		